

出水で作業員が流される死亡事故が発生

増水した河川で船が転覆し、作業員が流されるという事故が発生しました。これから秋に向けて台風の上陸も予想されることから、対策案を確認するなど事前に十分な備えを心がけて下さい。

<事故概要>

- ・浚渫船が下流に流されたため、作業員3名が通船に乗り込み、浚渫船を操船しようとした。
- ・上流側より乗船を試みたが、河川の急な流れに巻き込まれ、通船の操縦がきかなくなり、横転。
- ・通船は左舷側より浸水し、浚渫船下部に入り込むように転覆。
- ・2名は自力で岸へはい上がったが、1名は行方不明。
- ・捜索は、海上保安本部のヘリコプター・巡視船、警察、消防、工事関係者で行われ、5日後に発見され、死亡が確認された。



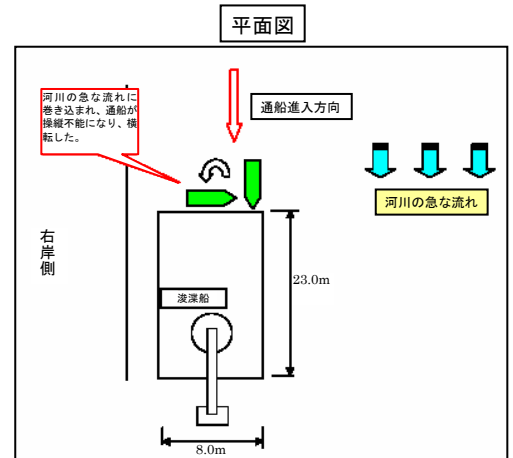
流された浚渫船



<事故防止対策案>

- ◎夏期休業時であっても、急な河川の増水等に対する対策を備えておく。
- ◎気象情報等は適切に入手する。
- ◎荒天時は安全に配慮し、元請業者から下請業者への指示は適正に行う。

詳細については、現在調査中ですが
注意喚起のため掲載するものです。



◎台風・局地的豪雨に備えて◎

インターネット・携帯端末で全国の河川の雨量・水位情報が見られます。こまめなチェックを心がけて下さい。
国土交通省 川の防災情報 パソコン版 (<http://www.river.go.jp>)、携帯版 (<http://i.river.go.jp>)

堤防天端を走行中のトラックが堤外側へ転落

現場状況写真

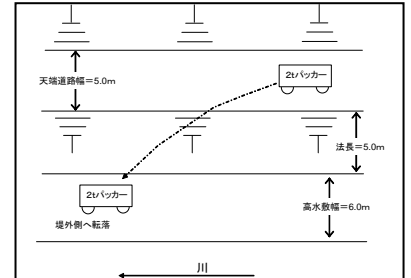


<事故概要>

- ・ 除草刈草を運搬していたところ、堤防天端道路を走行中に堤外側へ転落した。
- ・ 運転手は頭部裂傷。
- ・ 2 t パッカー車破損

<事故原因>

- ・ 第三者（対向車）が中央側へ寄りすぎたため路肩から逸脱した。



<事故防止対策案>

- ◎ 「だろー運転」は行わず、常に安全運転を心がける。
- ◎ ガードレール等のない道路では特に気をつける。
- ◎ 道路端からは距離をとって走行する。

歩道、自転車道又は自転車歩行者道のいずれをも有しない道路を通行する自動車は、その車輪が路肩（路肩が明らかでない道路にあつては、路端から車道寄りの〇・五メートル（トンネル、橋又は高架の道路にあつては、〇・二五メートル）の幅の道路の部分）にはみ出してはならない。（車両制限令第九条）

- ◎ 被害を最小限にするためシートベルトは正しく装着。

車両破損状況



剪定作業中に枝が折れ、転落

<事故概要>

- ・ 街路樹の剪定作業時、枝に足をかけノコギリで枝を切り落としていた最中に足をかけていた枝が折れた。
- ・ 約2.5m下の歩道に落下し、病院に搬送。腰骨の骨折。

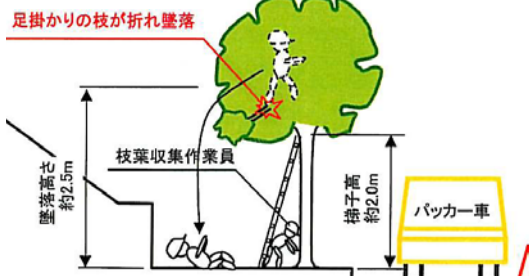
<事故原因>

- ・ 足をかけた枝が腐っていた。（外見では判別不可能であった。）
- ・ 安全帯を使用していなかった。

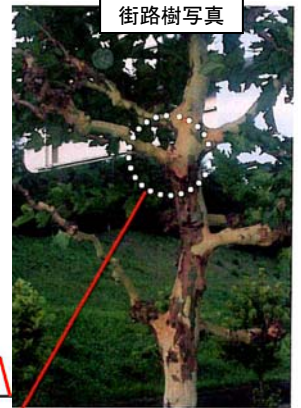
<事故防止対策案>

- ◎ 高所作業時は安全帯を使用する。
- ◎ 足をかけるなどする際は枝の強度等を確認をする。

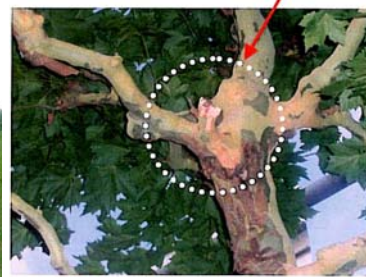
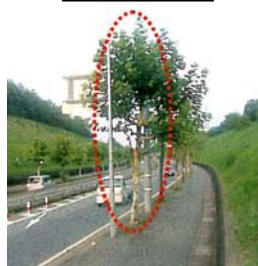
イメージ図



街路樹写真



街路樹写真



拡大図

小さな注意も欠かさず、事故を未然に防ぎましょう